

「権利等の教育の充実」

自分の権利を主張するために
こどもたちへ権利教育を



こどもたちが主体的に行動できるようにするため、
コミュニティスクールを活用し、権利に関する知識を深めていく

現状の問題・課題

- ①全ての市民が自分の権利を主張できるようにするため
- ②こどもたちが不満や悩みがあっても伝え方が分からない/解決法がわからない/相談（アドバイス）できる場があまりなく利用しにくい
- ③こどもたちと保護者以外の大人の接点が減り、大人がこどもの社会をあまり知らない

参考事例・備考

- ・「学校へ行こう週間」
- ・ふくやま地域若者サポートステーション
- ・ファミリーデイ
- ・ライフサポート休暇

各主体の役割・取組

市民

- ・コミュニティスクールで議論する
- ・「学校へ行こう週間」等で積極的に学校に行ってみる（こどもの環境を知る）

企業

- ・こどもの権利に関する研修を行う
- ・参観日休暇を創設
- ・企業参観日の実施

- ・福山市LINEに法律や権利に関する情報を提供する機能を追加
- ・スクールカウンセラーの機能充実、相談窓口の設置
- ・サポステの学校版をつくる

子育て支援団体